

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B2803	事務事業名			市民四季の森バラ・アジサイまつり開催事業			事業期間			平成18年度		～	令和8年度以降					
実施計画事業																				
実施計画事業以外の事業		○	担当部			都市政策部			担当課・担当係			みどり公園課・花と緑推進係								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	28	展開 方向	3	事業・予算区分		一般事業		款	8	項	4	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市まちづくり推進計画							対象 (何・誰を対象に)		市民及び市民四季の森利用者									
	目的 (何のために)	市内外にバラ・アジサイまつりを通じて市民四季の森のPRを行うとともに、市民への緑化意識の高揚を図るため。							内容 (どのような方法で)		市民四季の森において、管理の行き届いたバラやアジサイの鑑賞やフォトコンテスト、各種ブース設置、キッチンカー出店による飲食の提供、水辺の音楽広場における吹奏楽の演奏等によるまつりを開催する。									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	1,983	2,606	8,157	8,216	
				国・県支出金						
				その他						
			計(A)		1,983	2,606	8,157	8,216		
			対前年比		%	—	131.42%	313.01%	100.72%	
	予算額			千円	8,347	8,347	8,347	8,367	10,467	
	人件費	正規職員			人	1.03	1.03	1.03	1.03	
		正規職員(平均賃金)			千円	7,711	7,711	7,711	7,711	
		その他職員			人					
		その他職員(時給×時間)			千円					
		計(B)			千円	7,711	7,711	7,711	7,711	
事業費合計(C=A+B)				千円	9,694	10,317	15,868	15,927		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	28	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	市民四季の森を訪れた人数	人	↗	—	—			
	展開方向	3	2								
			3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	市民四季の森有料施設等利用状況	人	目標	130,000	70,000	80,000	90,000	90,000
				実績	62,095	75,732	90,763	91,289	
		バラ・アジサイまつり来場者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
				実績	0	0	7,521	6,547	
	活動指標			目標					
				実績					
				目標					
				実績					
	単位事業あたり	受益者数(a)		人	0	0	7,521	6,547	
受益者あたり事業費(=C/a)		円			2,109	2,432			

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの						
	事業の達成状況と課題	市民四季の森有料施設等利用状況はコロナ禍の減少から回復しており、市民四季の森のPRとしてはすでに十分な効果を達成している。バラアジサイまつりの来場者数実績はイベント実施日のみの集計であるが造園業協会のブースでは毎年用意した材料が全て配布されるなど、緑化意識の醸成にもすでに一定の効果が見られる。 また、令和4年度からキッチンカーの通年出店を開始したことにより、市民四季の森利用者の利便性を高めており、水辺の音楽広場には令和6年度中に日除け施設を設置する予定であることから、年間を通して多様なイベントを開催できる環境が整えられる状況となる。		今後の実施内容・今後の改善内容	市内はもとより他市、他県から遠足の場所としてかなりの需要があり認知度は高い。また、雑誌等にも定期的に取り上げられることにより認知度の向上は図られている。また、熱中症対応やバラとアジサイの開花時期のずれなど、現在の開催主旨では日程調整が難しい状況も発生している。これらのことから、既存の開催内容では、すでに一定の事業効果が達成されており、市制70周年記念の行事として通常よりも拡大した内容で行う令和7年度の行事を、これまでの集大成として結実させ、事業の区切りとし、令和8年度以降は、事業廃止も視野に入れつつ、費用対効果を高めるため「バラまつり」として規模を縮小しコンパクト化してリニューアルすることや、「春のバラまつり(市主催)」、「秋の枯葉コンサート(民間主催)」など分散実施をすることなどの検討が必要である。なお、キッチンカーの通年出店は利便性を高めつつ使用料収入も発生していることから引き続き継続する予定である。				
	改善の有無	有			千円 節 細節 細々節				
	これまでの改善内容	有名人等の招聘から市民団体との協力へと方針を変更したことで市民の活動中心のイベントとなった。また、キッチンカーの通年出店を開始したことにより、園内環境が向上したとともに、キッチンカー事業者の出店希望も増加しており、一部出店エリアでは毎月抽選が必要となるほど周知されてきている。なお、令和5年度はバラ・アジサイまつりのイベント期間のみ水辺の音楽広場に仮設テントを設置したが、令和6年度に脱着しきテントを設置する予定であり、一般利用の利便性を高める環境整備を行っている。		事務による事業額評価					

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき	すでに一定の効果が達成されている
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	一部の住民に影響がある	市民活動団体や吹奏楽部等の活動機会が減少するが、市のイベントではなく個人や団体による独自イベントを開催することは可能である。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	キッチンカーの通年出店をすでに実施していることにより、園内の飲食サービスは向上している。また水辺の音楽広場に日除け施設を設置することにより夏場でも休憩できる場所を提供することができる。イベントに関しては、規模の縮小と分散を行い、使用料を徴収によるキッチンカー出店やマルシェ等を併設することで一定の使用料収入を見込むことが可能である
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	外部委託や統合により削減の余地がある	市開催のイベントに限らず、内規で定めるキッチンカー出店の基準や、都市公園内行為許可基準を見直すことで民間の独自イベント等を開催することを可能とすることができる
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	小牧市民まつりやいきいきこまき等、他のまつりイベントにおいても入場料等の受益者負担を求めていることから本事業でも受益者負担を求めていることが適正である